

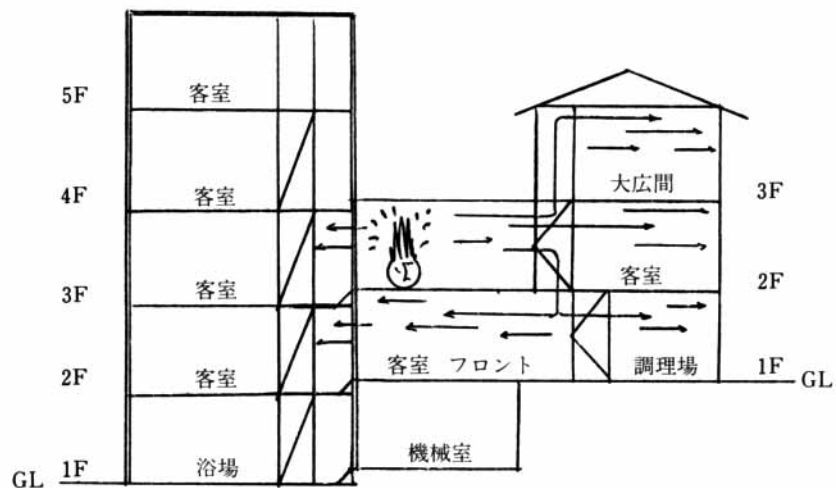
名 称 所 在	用 途 (令別表)	発 生 日 時 等	構 造 ・ 階 層 面 積	焼 損 程 度 (焼 損 面 積) 延 面 積	死 傷 者
福寿美旅館 神奈川県足柄下郡 湯河原町宮上 662の2	旅 館 (5)イ	昭和43年9月13日	防火一部 耐火 5/1	全・㊦・部・小	死者
		出火2時20分ころ 覚知2時38分 覚知別 報知電話 鎮火3時34分	建 355.13m ² 延 1,320.37m ²	731.79m ² (55%)	0名 傷者 5名 (2)

I 火災概要												
① 概 要	温泉街の旅館密集地で未明、旧館2階の使用されていない客室から出火し、旧館と新館の一部を焼いたが宿泊客2名しかいなかったため、負傷者5名を出しただけで大惨事をまぬがれた。現場は、昭和42年2月25日、死傷者45名を出す火災を発生させた。ホテルの近くだったため一時大混乱となった。											
② 階 別 状 況	階	床面積 m ²		焼損床面積 m ²		用途(売場)		在館者		死 者	避難設備等	消防用設備等
		旧館 防火造	新館 耐火造	旧館	新館	旧館	新館	旧	新		屋内階段 (旧館) 4箇所 (新館) 1箇所 屋外避難 階段 (新館) 1箇所 繩梯子 (新館)3箇所 (旧館)2箇所	消 漏
	5		146.61		29.48							
	4		146.61		29.48							
	3	101.45	146.61	101.45	29.48	中広間	客 室	2	2			
	②	216.16	146.61	216.16	28.99	客 室						
	1	220.29	134.84	220.29	15.27				3			
	BI	61.19				機械室						
	合計	1,320.37		731.79					7	0		
③ 出 火 場 所	(階, 室, 部位, 可燃物状況, 居室・非居室, 在・不在) 旧館2階客室「松」の間から出火 旧館2階客室「松」の間は使用しておらずテレビが置いてあるのみであった。									④ 出 火 原 因	不 明 火点は、旧館2階の、空き客室であるが、出火原因については、断定されるまでに至っていない。	

⑤ 火 災 の 延 焼 経 路 等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">(出火部位) 旧館2階 客室「松」</div> <div style="text-align: center;">(出火室の拡大) 内 装</div> <div style="text-align: center;">(他室への延焼) • 天井裏区画不備箇所 • 防火戸開放部分 • 廊下等</div> <div style="text-align: center;">(他階への拡大) 階 段</div> </div>			
	<p>防火造旧館2階から出火し延焼拡大するとともに、間仕切壁の天井裏防火区画未施工部分等から他室へ拡大した。 新館へは連絡通路の甲種防火戸が開いていたため、その開放部分から延焼し屋内階段伝いに延焼拡大した。</p> <p>○ 延焼拡大した主な理由 ○ 発見が遅れたうえ、初期消火が行われなかった。 ○ 老朽木造建物のうえ、区画の防火シャッターが閉鎖されなかった。 ○ 煙の伝播経路 ○ 延焼拡大にともない、天井・廊下・階段伝いに伝播していった。 ○ 新館へは連絡通路の甲種防火戸が開放していたため、流入し屋内階段伝いに上階へ伝播した。</p>			
II 火災建物概要				
① 建 築	着工・竣工又は主たる改築等 (旧築) 昭和27年 月 日 (新築) 昭和35年 月 日			
管 理 状 況	② 豎 穴 の 状 況		③ 防 火 管 理 状 況	
	階 段 <input checked="" type="checkbox"/> ダクトスペース <input type="checkbox"/> エレベーター <input type="checkbox"/> パイプシャフト <input type="checkbox"/> エスカレーター <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/>		○防火管理者は選任されていない。 ○消防計画は提出されていたが現場に即さなかった。 ○避難訓練は実施されていなかった。 ○自衛消防隊は組織されていなかった。 ○自主点検は計画的でないがときどき実施していた。	
管 理 状 況	④ 防 火 区 画 等		⑤ 消 防 用 設 備 等	
	○新旧館連絡通路は甲種防火戸で区画されている。 ○新館は、各階ごとに、階段室で、甲種防火戸で区画されている。		自動火災報知設備及び非常ベルが未設置であった。	

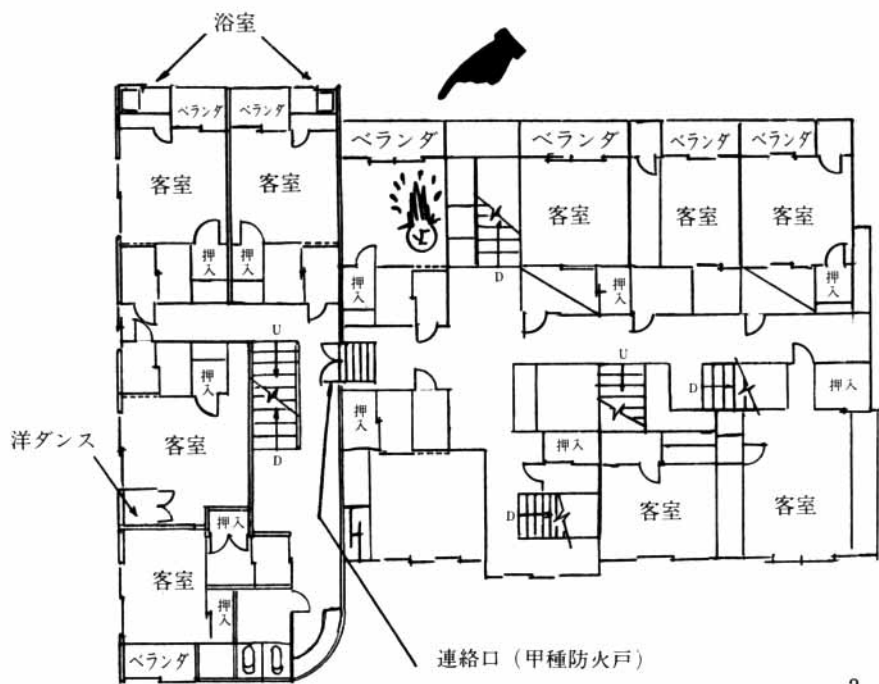
III 火災後の行動		
① 発見状況	○発見者 (旅館責任者Y) ○発見の動機 (うるさい物音) ○発見後の行動 (従業員を呼び起こす)	
	旧館1階調理場隣の居室に、従業員の女2人と就寝していた責任者のY(女、62才)は何か物音がうるさくて目がさめ、廊下へ出て2階階段の上部をみると煙が充満し、火炎が所どころに見えた。しかし、どう処置するすべもなく従業員を呼び起こし外へ避難した。	
② 通報状況	通報した <input checked="" type="checkbox"/> (従業員) 出火後約(18)分 しない <input type="checkbox"/>	
	従業員K(女、18才)は、責任者Yに起こされ、2階を見に行ったがどうすることもできず、夢中で1階フロントの電話により通報し、余裕をみて1階寝室にもどり洋服に着替えて外へ出て避難している。	
③ 初期消火状況	消火した	成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input type="checkbox"/> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/>
	消火しない	○消火時期 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>
(理由又は状況) 発見が遅れたこともあるが、適切な初動対応ができずにいる間、火災が拡大してきたためどうすることもできずに避難している。		
④ 消火活動概要	(消防上の支障・困難性等) 旧館(防火造3階)の2階空室から出火しており、覚知が相当遅くなった事より消防隊が到着時には、旧館はかなりの範囲に火災進展していた。このため火勢も強く、新館と接続する渡り廊下の防火戸が開放されており、同時に耐火建物でも防ぎよせざるを得ず、消防活動に支障をきたした。	

	避難方法	避難上支障事項																												
⑤ 避難状況	○階段を利用 <input checked="" type="checkbox"/> (2 人) ○エレベーター, エスカレータ利用 <input type="checkbox"/> (人) ○避難器具を利用 <input checked="" type="checkbox"/> (1 人) ○窓, 開口部から直接地上へ <input checked="" type="checkbox"/> (1 人) ○救助 <input type="checkbox"/> (人) ○その他() <input type="checkbox"/> (人)	○無窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input checked="" type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, (未設置)) ○停電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>																												
⑥ 死者の状況	<table border="0"> <tr> <td>健康人</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>(泥酔者)</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>要保護者</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>乳幼児</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>高齢者</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>身体不自由者</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>病人</td> <td>名</td> </tr> </table>	健康人	名	(泥酔者)	名	要保護者	名	乳幼児	名	高齢者	名	身体不自由者	名	病人	名	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">避難上支障となった事項</td> </tr> <tr> <td>○無窓</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>○開口部の格子等</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>○非常口(出入口)等の施錠</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>○警報設備</td> <td><input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置)</td> </tr> <tr> <td>○停電</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>○その他</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	避難上支障となった事項		○無窓	<input type="checkbox"/>	○開口部の格子等	<input type="checkbox"/>	○非常口(出入口)等の施錠	<input type="checkbox"/>	○警報設備	<input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置)	○停電	<input type="checkbox"/>	○その他	<input type="checkbox"/>
健康人	名																													
(泥酔者)	名																													
要保護者	名																													
乳幼児	名																													
高齢者	名																													
身体不自由者	名																													
病人	名																													
避難上支障となった事項																														
○無窓	<input type="checkbox"/>																													
○開口部の格子等	<input type="checkbox"/>																													
○非常口(出入口)等の施錠	<input type="checkbox"/>																													
○警報設備	<input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置)																													
○停電	<input type="checkbox"/>																													
○その他	<input type="checkbox"/>																													
	なし																													
IV 問題点・教訓等																														
<ol style="list-style-type: none"> 1. 自動火災報知設備がなかったため早期発見通報が遅れた。 2. 防火管理者の選任がなされていなかった。 3. 消防計画もなく, 新従業員等に対する避難訓練等が不徹底であった。 4. 誘導灯・誘導標識・避難器具等の表示が不正確であった。 5. 非常警報設備(非常ベル等)がなかった。 6. 防火戸の活用がなされていなかった。 7. 木造3階の避難管理の悪い場所を居室としていた。 8. 主要な間仕切壁の天井裏防火区画が施工されていなかった。 																														



新館 (耐火造)

旧館 (木造)



3 階 (新館)

2 階 (旧館)